発行日／令和6年12月18日　発行者／江別市生涯学習推進協議会　編　集／広報委員会　連絡先／江別市教育委員会生涯学習課　〒067-0074　高砂町24-6　電 話 011-381-1062　FAX 011-382-3434　HPアドレス https://chezrokuri.city/shogai/生涯学習推進協議会／

生涯学習情報誌
Life Long Learning
S・S・S
第108号

令和6年度　生涯学習リレー講座
「SDGs―地球温暖化と私たちの暮らし」

令和6年9月13日、20日、27日の3週にわたって生涯学習リレー講座が開催されました。今回は、第1回から第3回までの講座内容について紹介します。

講座1　「地球温暖化のメカニズム」

日時　令和6年9月13日(金)
講師　北海道大学大学院地球環境科学研究院
　　准教授　佐藤　友徳　氏

佐藤友徳先生からは専門的で難解な部分もありましたが、気象観測の仕組みや様々なデータに基づいた地球温暖化の現状と将来的なシミュレーションなどについて詳しく説明いただき、私が抱いていた疑問も解けました。

その疑問とは、現在言われている地球温暖化がどの程度人為的な要因によるものなのか、そして近年の温暖化が地球規模の周期的な温暖化と寒冷化のサイクルの一部であるとすれば、人類には抗いようのない問題ではないかということでした。

このことについては、講師から具体的なデータをもとに今日の温暖化が産業革命以降の人為的な要因によるところが大きいこと、また温暖化に対して有効な対策を取らなかった場合の気温上昇の見通しについて納得のいく説明がありました。

一方、参加者からはこの問題の核心に触れる意見がありました。縄文時代にも温暖な時期があったがそれなりに豊かな生活を送れていたようで、地球温暖化を心配する必要はないのではないかといった意見です。

これに対して、講師からは温暖化によって寒冷地でも美味しいお米が作れるようになるといった側面もあり、新たな環境に適応して人々の生活様式も変わっていく必要があるといった趣旨の説明がありました。

確かに5、6千年前の縄文時代前期の年平均気温は現在より1～2度高かったと言われており、北海道や東北地方では人口も増えて定住化が進み大規模な集落が営まれていました。

一方、温暖化によって海面が大きく上昇（縄文海進）するなど、気象変動が人類の生活に大きな変容をもたらしたことは間違いありません。縄文時代であれば、集団で居住地を移動するとかいったこともそう難しくなかったかもしれませんが、現在では簡単にはいきません。

さらに、近年における台風や集中豪雨、大雪などによる被害や魚類分布をはじめ生態系の変化の背景に地球温暖化があるとすれば、やはり問題なしとすることは出来ません。

地球温暖化が人為的要因によるものであるとすれば、人類の知恵で克服できるはずであり、克服しなければならない問題にちがいないと思いました。

総務委員会　園部　真幸

講座2　「南極から見る地球環境」

日時　令和6年9月20日(金)
講師　北海道大学低温科学研究所　教授　青木　茂　氏

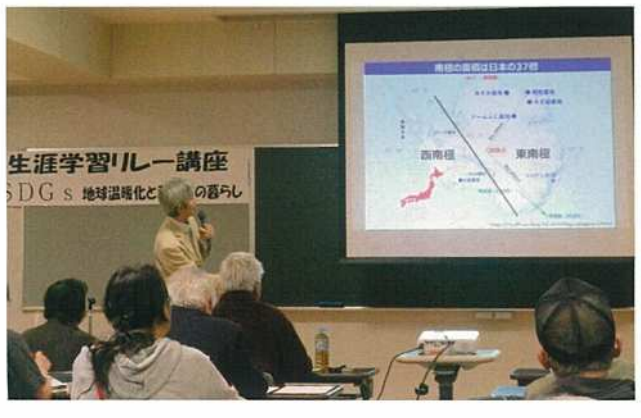
今年度第2回目の講演は南極・海洋観測にも参加されていて、第61次隊で11回目の南極観測を経験、第39次観測隊では昭和基地で越冬観測にも従事された青木教授によるものでした。

南極での生活の様子や、観測隊の方たちの仕事について、また南極の陸地や海の中で起きていることについての話は、興味深いこと、考えさせられることが多くありました。

隊員の方も様々な専門分野の技術者により構成されていて、研究者という方が意外と少ないのだと感じました。ただ、長期間一緒に生活する中ではそれぞれの得意分野に限らず、知恵を出し合い工夫しながら仕事を進めていかなければならないようです。その為隊員同士のコミュニケーションもかなり必要なのだろうと思います。食事のメニューも楽しみの一つと話されていたことで、やはり人間にとって食べるという事は大切なこと。私自身農業者という立場で食育活動を進めている中で、「農業は命を守る産業」と伝え続けていることに通じるものがあるのかなと感じました。

今回一番興味深かったのは、南極陸地の気温の変化がないのに対して、海低温度が1℃程上がっているのではないかということです。零度で水が氷ることを考えると1℃という温度上昇は地球上にとって大きな影響をもたらすのではと心配になりました。地球温暖化だけでなく、生活するなかでも環境について今まで以上に興味を持つべきと感じた講演でした。

総務委員会　三角　晴美



入場無料

令和6年度生涯学習リレー講座
（えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座）

SDGs
地球温暖化と私たちの暮らし

会場／江別市大麻公民館 2階 研修室2号（江別市大麻中町26番地7）

講座1　令和6年9月13日（金）
18:30～20:30（先着70名／受講料無料）
「地球温暖化のメカニズム」
講　師：北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授　佐藤　友徳　氏

講座2　令和6年9月20日（金）
18:30～20:30（先着70名／受講料無料）
「南極から見る地球環境」
講　師：北海道大学低温科学研究所　教授　青木　茂　氏

講座3　令和6年9月27日（金）
18:30～20:30（先着70名／受講料無料）
「もっとずっとeライフ～私たちの暮らしと環境問題」
講　師：えべつ地球温暖化対策地域協議会　事務局長　岡崎　朱実　氏

■申込受付：8月1日(木)から各回3日前まで
■申込方法：電話、Eメール、FAX、申込書郵送により受付いたします。FAX、郵送の場合はチラシ裏面の「参加申込書」をご利用ください。電話、Eメールの場合は、お名前、ご住所、電話番号、受講希望講座をお知らせください。

◇申し込み・問い合わせ先／江別市生涯学習推進協議会事務局（教育委員会生涯学習課生涯学習係内）
〒067-0074　江別市高砂町24番地の6
TEL 011-381-1062 ／ FAX 011-382-3434
E-mail shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp
江別市生涯学習推進協議会ホームページ　https://chezrokuri.city/syogai/生涯学習推進協議会

＜主　催＞　江別市生涯学習推進協議会

裏面に「参加申込書」あり

発行日／令和6年12月18日　発行者／江別市生涯学習推進協議会　編　集／広報委員会　連絡先／江別市教育委員会生涯学習課　〒067-0074　高砂町24-6　電 話 011-381-1062　FAX 011-382-3434　HPアドレス https://chezrokuri.city/shogai/生涯学習推進協議会／

講座3「もっとずっとeライフ ～私たちの暮らしと環境問題」

日時　令和6年9月27日(金)
講師　えべつ地球温暖化対策地域協議会　事務局長　岡崎　朱実　氏

3回目の講演はぐっと私たちの暮らしに迫ったお話が聞けました。
このタイトルにある「eライフ」の「e」は経済（Economy）、エネルギー（Energy）、エコ（Ecological）、地球（Earth）、環境（Environment）、江別（Ebetsu）、いいねを表しているそうです。
まず国連のグテーレス事務総長が2019年に「気候変動はもはや気候危機である」と宣言し、2023年には「地球沸騰化」と発言したというお話から始まりました。それを防ぐために今、私たちのできることと・・・と具体的なお話に入っていきました。
日本では環境省が脱酸素に繋がる新しい豊かな暮らしを作る国民運動として「デコカツ宣言」をしました。この「デコカツ」という言葉も私は初めて聞きました。その意味は、デ・・・電気も省エネ　断熱住宅　コ・・・こだわる楽しさエコグッズ　カ・・・感謝の心食べ残しゼロ　ツ・・・つながるオフィス　テレワーク。と、いうものでした。
そして、省エネ節電のポイントについて具体的にクイズを交えながらお話しが進みました。省エネ節電のポイントはメンテナンス（お掃除）、見える化（知る）、設定（使い方）、使用時間・回数（時短）、選び方・代替です。特に掃除については、冷蔵庫の裏側や側面にあるフィルター掃除も省エネにつながることなど、身に覚えのある事ばかりで家に帰ったらすぐに実践しようと思いました。クイズも生活に根ざした身近なもので、一方的に聞くばかりではなく、参加者が自ら考える機会を多く与えてくれました。

講演の最後に紹介された、スウエーデンのグレタさんの行動がきっかけで生まれた「私たちは気候危機を止められる最後の世代」というスローガンが印象的でした。
今回はえべつ環境広場に長く関わっている岡崎さんに貴重で身近なお話しを聞けてよかったです。受講者は35名でした。ありがとうございました。
総務委員会　川守田　阿津子

これからのイベント

◆江別家庭生活カウンセラーグループ
連絡先：011-386-9345
○不安と抑うつ
～森田療法の視座から～
日時：2025年1月11日(土)
13：30～(開場)
場所：えぽあホール
内容：江別家庭生活カウンセラーグループの母体である公益社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンターとの共催。豊かな人生を築くために健全な家庭づくりを基調とする心の健康保持のための啓発事業

◆江別ユネスコ協会
連絡先：011-381-1069
（江別市教育委員会生涯学習課）
○えべつと炭鉄港学習会
日時：2025年1月31日(金)
15：00～17：00
場所：野幌公民館 研修室5号
内容：市内のれんが等に関する炭鉄港の構成文化財についての講演とそれらを今後のまちづくりに活用するためのワークショップです。
申込：1月24日(金)までに上記連絡先へ電話

◆えべつ江北まちづくり会
連絡先：011-384-0285
○第16回江北ふれあい祭り
日時：2025年2月16日(日)
10：00～15：00
場所：江別市都市と農村の交流センター「えみくる」
内容：屋外ではバナナボート、チューブ滑りで遊んで雪だるまづくり。屋内では歌バンド演奏、ジャズダンス等のステージやビンゴ大会、ゲーム等楽しいイベントを用意して待っています！！美味しいグルメや雑貨等の販売、キッチンカーも来ます！
家族揃って遊びに来てください！

◆江別生涯学習インストラクターの会
連絡先：011-383-5751
○「春のお祝いご膳を作ろう」
日時：2025年2月22日(土)
10：00～12：30
場所：野幌公民館　調理室
講師：尾澤　典子　氏
内容：春のお祝いの時に作りたくなる自宅で作れるちょっとおしゃれなメニューを計画しました。
ご参加ください。

手話をまなぼう

今回は、「呼びかける会話part2」です。

「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていただくと、手話の動画がご覧になれます。

Now 生涯学習の今

今回は、当協議会の会員である「おはなしなあに」の最新の活動についてご紹介します。
【活動内容】
第3土曜日を除く月3回、10時半から11時半まで大麻公民館での活動です。絵本、手遊び、工作、また年間行事も取り入れ楽しい時間を過ごしています。0歳から参加の子ども達もいて、その成長を感じられる事は活動のやりがいにつながっています。

まなぼう Vol.25

江別創造舎　代表　田口　智子

江別創造舎は、2007年1月に地域文化振興活動を目的に発足し、まもなく18年目を迎えます。江別創造舎は「個が生き、個が活かされる地域（まち）づくり」、「地域が生き、地域が活かされる人づくり」を掲げて、メンバー一人ひとりのキャリアを活かしながら地道に、継続的に活動を推進しております。
主な活動は、2008年から5年間を要して制作した江別カルタを活用した地域活動や、地域の知財・地財を有した講演会の開催です。ぜひ、皆様のご活動と連携して、江別カルタ大会や講演会を開催できたら素敵ですね。
共に活動をしていただける方、大募集中です！

生涯学習推進協議会のホームページ

生涯学習推進協議会のホームページでは、過去の各種事業の様子や、これからのイベントのスケジュールが見られます。QRコードからご覧ください。

《編集後記》
ら・ら・ら108号が出来ました。
まもなく2024年も過ぎていきますね。
今年はどんな年になりましたか？
当協議会で振り返りますと、9月に野幌公民館を全館貸し切りました「ら・ら・らフェスティバル」では、加盟団体の皆さんに協力していただき、学びの場が館内いっぱいにあふれ、たくさんの笑顔に出会えることができました。
新しい年がまた学びと出会える年でありますように…よいお年を。
広報委員会　西懸　昭子